

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【公開番号】特開2016-193341 (P2016-193341A)
 【公開日】平成28年11月17日 (2016.11.17)
 【年通号数】公開・登録公報2016-064
 【出願番号】特願2016-163705 (P2016-163705)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月1日 (2017.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
予告演出を実行する予告演出実行手段を備え、
 前記予告演出実行手段は、

前記予告演出として、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態に制御される可能性の段階を異ならせた複数の第 1 予告演出のいずれかを実行可能であるとともに、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態に制御される可能性の段階を異ならせた複数の第 2 予告演出のいずれかを実行可能であり、

前記有利状態に制御されないときに、前記複数の第 1 予告演出のうちで前記有利状態に
制御される可能性が低い段階に対応した演出態様の前記第 1 予告演出が実行される場合に
、前記複数の第 2 予告演出のうちで前記有利状態に制御される可能性が低い段階に対応し
た演出態様の前記第 2 予告演出が実行されることが制限されるように、前記予告演出を実
行し、

前記第 1 予告演出と前記第 2 予告演出とを異なるタイミングで実行可能である、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

特許文献 1 の遊技機では、遊技の興趣が低下してしまう。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、上記実情に鑑みなされたものであり、遊技の興趣を向上させた遊技機を提供

することを目的とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、

(１) 可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、予告演出を実行する予告演出実行手段（例えばステップＳ７１７、Ｓ７２０、Ｓ７２１の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）を備え、前記予告演出実行手段は、前記予告演出として、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態に制御される可能性の段階を異ならせた複数の第１予告演出（例えば第１先読み予告演出、第１変動中予告演出など）のいずれかを実行可能であるととも、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態に制御される可能性の段階を異ならせた複数の第２予告演出（例えば第２先読み予告演出、第２変動中予告演出など）のいずれかを実行可能であり、前記有利状態に制御されないときに、前記複数の第１予告演出のうちで前記有利状態に制御される可能性が低い段階に対応した演出態様（例えば先読み予告パターンＳＹＰ１－１など）の前記第１予告演出が実行される場合に、前記複数の第２予告演出のうちで前記有利状態に制御される可能性が低い段階に対応した演出態様（例えば先読み予告パターンＳＹＰ２－１など）の前記第２予告演出が実行されることが制限されるように、前記予告演出の演出態様を実行し（例えばステップＳ７１２における判定結果に基づいて、ステップＳ７１３またはＳ７１４の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）、前記第１予告演出と前記第２予告演出とを異なるタイミングで実行可能であることを特徴とする。

このような構成によれば、遊技の興趣が向上する。